

3月定例会概要

3月定例会は、2月26日から3月20日までの23日間の日程で開会しました。今定例会では、予算案12件、補正予算案11件、条例案16件、事件案（専決処分含む）11件、人事案2件が審議されました。また、報告は6件あり、請願については2件提出がありました。



一般質問は、3月7日、8日、9日の3日間行い、13人の議員から市議会に対する質問がありました。委員会審査については、人事案を除いて議案は所管の委員会に付託され、3月12日、13日は予算決算常任委員会分科会、14日は総務文教・産業民生常任委員会、16日は予算決算常任委員会全体会において審査を行いました。

最終日には、各委員長報告と採決が行われました。採決にあたり、「平成30年度飯山市一般会計予算修正案」が、飯田健一議員、市川久芳議員、江沢岸生議員、松本淳一議員から提出されましたが、賛成少数で否決されました。また、議会運営委員会から憲法論議に際し、国民の声をよく聞き、拙速な結論を避けることの見解が提出されました。採決の結果、審議された議案等については全て可決・承認となりました。

各議員の一般質問の内容については、5月号に掲載します。

事件案 11件 損害賠償の額の決定について
指定管理者の指定について（6件）
辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
過疎地域自立促進計画の変更について
専決処分事項の承認を求めることについて【平成29年度飯山市一般会計補正予算（第7号）】
議決事項の変更について

可決（全員一致）
可決（全員一致）
可決（全員一致）
可決（全員一致）
承認（全員一致）
可決（全員一致）

人事案 2件 教育長の任命に関する同意を求めることについて
固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて

同意（全員一致）
同意（全員一致）

報告 6件 専決処分事項の報告について

賛否が分かれた議案の表決結果

○=賛成 ●=反対

※「長」は委員長のため委員会での表決権はありません。
※「一」は別委員会のため表決権はありません。

議案番号	議案等名	議員名	議員名													議決結果		
			松本淳一	飯田健一	荻原洋平	西澤一彦	江沢岸生	市川久芳	渡辺美智子	洪川芳三	高山恒夫	上松永林	竹井政志	久保田幸治	小林喜美治		山崎一郎	石田克男
1	平成30年度飯山市一般会計予算	委員会	●	●	○	○	●	●	●	長	○	○	●	○	○	○	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度飯山市一般会計予算修正案	本会議	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
11	平成30年度飯山市駐車場事業特別会計予算	委員会	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	委員会	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	飯山市企業立地振興条例の一部を改正する条例	委員会	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議案番号1の委員会の表決は、可否同数であったため委員長採決で可決

請願審議等の結果

番号	件名	提出者	委員会審査 (委員長報告)	本会議（委員長報告に対する表決）		
				賛成	反対	議決結果
請願 1	現在の改憲論議に際し、国民の声をよく聞き、拙速な結論を避けることの見解書を提出することの請願	安倍9条改憲NO！ 飯山市民アクション	不採択	15	0	不採択
請願 2	治安維持法犠牲者（家族を含む）に対して国家賠償法制定を求める意見書採択に関する請願	治安維持法犠牲者国家賠償 要求同盟長野県北部支部	継続審査	8	7	継続審査

意見書

意見書1号	憲法論議に際し、国民の声をよく聞き、拙速な結論を避けることの見解書	可決（全員一致）
-------	-----------------------------------	----------

平成30年3月定例会で審議された議案等

予算案 12件	平成30年度飯山市一般会計予算 平成30年度飯山市公共下水道事業特別会計予算ほか 平成30年度特別会計予算9件・平成30年度水道事業会計予算	可決（賛成多数） 可決（全員一致） 賛成多数
補正予算案 12件	平成29年度飯山市一般会計補正予算（第8号） 平成29年度飯山市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）ほか 平成29年度の特別会計補正予算9件・平成29年度水道事業会計補正予算	可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致）
条例案 16件	飯山市個人情報保護条例及び飯山市情報公開条例の一部を改正する条例 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例 飯山市子ども館条例 飯山市児童センター条例の一部を改正する条例 飯山市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例 飯山市放課後等デイサービス施設条例 飯山市水道水源保全条例 飯山市国民健康保険条例の一部を改正する条例 飯山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 飯山市介護保険条例の一部を改正する条例 飯山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例 飯山市企業立地振興条例の一部を改正する条例 飯山市小菅里の家条例 飯山市都市公園条例の一部を改正する条例 飯山市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決（全員一致） 可決（賛成多数） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（賛成多数） 可決（賛成多数） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致）

予算決算常任委員会

(総務文教分科会審査)

平成30年度飯山市一般会計予算

●市民学習支援課

・「読書普及事業」城南中学校で保管されている笹本文庫の貸出方法、活用方法、保存年限は。

↓貸出方法は学校内のため、セキュリティに配慮し安全な環境でできるような整理していきたい。汚損破損等については除籍基準があるが、保存年限については設けていない。



城南中学校内の笹本文庫

●文化交流課

・「飯山市文化交流館管理事業」

なちゆらが開館して3年目となるが、

木製外壁の表面が白くなってきた。補償期間等確認し、早急に補修すべきと思うが。

↓施工業者に確認し検討したい。

●子ども育成課

・「小中学校ICT教育推進事業」電子黒板などの導入状況は。

↓普通教室等80クラスほどのうち、デジタルテレビは既に23台導入済、残りの60数台を導入していく。ICT研究委員会や学校の意向を聞き電子黒板をモデル的に導入したい。教師用のタブレットを活用し、電子黒板的に利用しながら電子黒板の増設を今後検討したい。

●スポーツ推進室

・「体育施設管理事業」各施設の利用状況は。

↓延べ利用者数武道館8718人、弓道場5163人、テニスコート1279人。春に開催の弓道大会にはJRの臨時列車も運行されている。

●庶務課

・「財産管理経費」電気料削減のために契約先を新電力事業者に切り替えるというのだが、施設全体の削減額はどのくらいか。

↓プロバイダーに支払う使用料を差引いても全体で年間700万円ほど削減となる。

◇その他意見

・職員採用について、予期せぬ早期退職者もあるため、将来に向けて対応をとの意見がありました。

残っているのは3名だけ。市の対応に問題はないか。

↓協力隊員の皆さんには、それぞれ得意分野で活動いただいている。飯山市のために十分に生かされるよう、話し合いを持ちながら研究していく。

●民生部

・医師招へい事業の奨学金利用の状況は。

↓平成30年4月から、6年生と4年生が1名ずつ、3年生が2名、2年生が1名となっている。6年の大学修学期間を終え医師免許を取得後、6年以内に飯山市内の病院に勤務する条件となっている。

●文化振興部

・移動図書館の利用推進をどの様に考えているか。

↓毎月の広報飯山の図書館だよりで巡回コースをお知らせするほか、新しく購入した本の紹介を行っている。



移動図書館車

●危機管理防災課

・「J-ALERT受信機・自動起動機更新事業」J-ALERT受信機に対する避難訓練なども想定しなければならぬと思うが。

↓J-ALERTが鳴った時の訓練については実施していかなければならない。県内では一部実施しているところもあるようなので、県と一緒に進めていければと考えている。

●税務課

・「市税収納率向上対策事業」滞納整理機構の負担金122万円の計算基準は。移管して回収した状況は。

↓均等割5万円、実績割15万円、件数割102万円、合計122万円。回収状況は28年度7件移管、収納額は103万5千円。専門的手法により整理が進み、不能欠損等も、機構の判断により市としては助かっている。28年度の機構への負担金は101万9千円。

(産業民生分科会審査)

平成30年度飯山市一般会計予算

●保健福祉課

・「高齢者等玄関先除雪支援事業」とりまとめをなぜ区長が行うのか。区長と民生委員の連携がうまくいかなかったところもあったと聞く。今シーズンの区長等の意見を集約し、次年度の事業に生かしていただきたい。

↓30年度に向けて関係者と協議し、

●教育部

・ICT教育は学力向上にどうつながるのか。

↓新たな学習指導要領では、プログラミング教育も入ってくる。そこでの活用や考える力への活用、深い学びにつなげて行くツールにもなる。

・教員住宅の使用率が低いがどうか。

↓今後の活用方法について、検討する必要があると考えている。

・トイレのユニバーサルはどのように進めるのか。

↓洋式化を実施済みの小学校は、飯山小、戸狩小、秋津小及び東小学校。30年度は常盤小の設計をし、国の補助が付きたい実施したい。

産業民生常任委員会審査

●議案35号飯山市企業立地振興条例の一部を改正する条例

・国の法律が変わり、工場等の定義に「県が策定した基本計画に基づき市が実施計画を策定すれば税制優遇が受けられる」と加えられた。税制上の公平性という観点から市の実施計画の策定にあたっては、議会の承認が必要と思うがどうか。

↓法令上、議会の承認は必要ないが、実施計画の内容については議会にも説明をしていきたい。

変えていくところは変え、事業の充実を図っていききたい。

●商工観光課

・「観光局運営事業」観光局への補助金が前年に比べ1000万円増額となっている。湯涌温泉の運営が赤字になっているためとの説明があったが、無条件に出せばいいというものではない。

↓補助金を出す以上は決算状況を確認している。経営努力を働きかけながらやっていきたい。

・観光局の事業の中には、森の家で行っている信越トレイル等収益の上からないものもある。このような事業により、移住者や交流の増、また、雇用も生まれている。そういう部分も評価していくべきと考える。

↓市の観光振興につながるというところで、森の家がスタートした経過がある。そういうところは、しっかりと市として見ていかなければならないと考えている。

●移住定住推進課

・「さわやか婚活応援事業」事業の評価や今後こんなことをやりたいというものがあれば伺いたい。

↓29年度は4回イベントを開催し、延べ135人の参加があった。歴代のイベントに参加した方で、成婚に至ったものが1組。また、登録された結婚仲人により1組成婚に至り、初めて報奨金を支出。今後は独身男女の情報をもっている仲人の方とも協力していきたい。

3月定例会での発言の取消しと厳重注意

- 一般質問の発言取消し
市川議員の一般質問中に不適切発言があり、議会運営委員会での決定を受け市川議員に発言の取消しを求め、本人の申し出により議場で発言の取消しがなされました。
- 委員会における事実と異なった発言
市川議員は委員会審査で、他の自治体を取り上げて事実と異なる根拠のない発言をし委員会審査を混乱させました。この発言に対し、議会運営委員会の協議を経て議員全員協議会において、議長から「根拠のない発言によって委員会を混乱し長引かせた責任は重大、再び繰り返さないよう」厳重注意を行いました。これを受け、市川議員から、誤った発言により多大な迷惑をかけたことと今後は細心の注意を払うことを内容とした謝罪文の朗読がなされました。